

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業						
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	65歳以上の高齢者及び60~65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。				区分	No.	区分名		
					款	4	衛生費		
					項	1	保健衛生費		
					目	2	予防費		
					細目	1	本庁予防費		
根拠条例等	予防接種法 宇陀市インフルエンザ予防接種実施要綱								
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進								
H26年度事業の概要	医療機関において各自予約の上、接種を受ける。 対象者：接種当日満65歳以上の方 60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方 接種回数：1回 自己負担金1000円以外の費用を補助する。 26年度予算額 需用費 65千円 委託料 21,275千円 負担金 175千円				財源の内訳 (単位：千円)				
					分担金				
事業の成果	高齢者インフルエンザ接種者数 22年度 6,131 23年度 6,001 24年度 5,990				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
	その他	300							
	一般財源	21,215							
	H26予算額	A 21,515							
	H25当初予算額	B 23,318							
	H25現計予算額	23,318							
	増減額	A-B ▲ 1,803							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		21,533	23,318						
従事職員数【人工】		0.30	1.09						
人件費(人工×8,000千円)		2,400	8,720						
総事業費：人件費含む(千円)		23,933	32,038						
活動指標名		接種者数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		5,990 単位 人	5,990 単位 人						
単位当たりコスト(円)		3,995	5,349						
事業の目標	高齢者のインフルエンザの罹患あるいは重症化を予防する。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (3)高齢者インフルエンザ予防接種事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	風しん予防接種補助事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	全国的に24年度の風しん感染報告数は過去5年間で最も多い数となり、25年度もその状況は続いている。風しんは妊娠初期の女性が罹患すると、出生児が先天性風しん症候群の発症がおこる可能性がある。妊娠を希望する女性と妊婦の配偶者に対し、予防接種費用を助成し、接種勧奨に努めます。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	2	予防費
細目	1	本庁予防費					
根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	【実施見込概算費用】 接種見込者数 100人 × 6,000円 = 600,000円 【対象者】 接種時点で、市内在住の19歳以上の方で ①妊娠を希望している女性 ②妊娠している女性の夫 ただし、妊娠中の女性、MRまたは単独の風疹ワクチンを2回接種している人、風疹にかかったことのある人は助成の対象外				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 接種費用を助成することで接種率を高め、妊婦の感染を予防し、ひいては先天性風しん症候群を予防する。				分担金		
				使用料			
				国費			
				県費	300		
				市債			
				その他			
				一般財源	300		
				H26予算額	A 600		
				H25 当初予算額	B		
				H25 現計予算額	1,500		
				増減額	A-B 600		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,500				
従事職員数【人工】			0.01				
人件費(人工×8,000千円)			80				
総事業費:人件費含む(千円)			1,580				
活動指標名		接種者数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績			100	単位 人			
単位当たりコスト(円)			15,800				
事業の目標	妊婦の風しん感染の予防					備考	
				<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業		
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算
事業の目的	高齢者の肺炎を予防し、健康増進と医療費軽減につなげる。				区分 No. 区分名
	款	4	衛生費		
	項	1	保健衛生費		
	目	2	予防費		
細目	3	ウエルネスシティ推進費			
根拠条例等	予防接種法				
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進				
H26年度事業の概要	65歳以上の方を対象に成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成をする。 接種対象者 * 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳以上 * 60歳以上で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人 接種回数: 生涯にわたり1回 自己負担2000円以外の費用を補助する				財源の内訳 (単位:千円)
	事業の成果	肺炎は日本人死因の4位を占め、65歳以上の主な死因となっている。特に肺炎球菌は高齢者肺炎の原因で最も多く、重症化しやすい。 肺炎球菌ワクチン接種費用の助成をし、接種勧奨することで肺炎の予防、健康寿命の延伸につなげる。			
使用料					
国費					
県費					
市債					
その他		180			
一般財源		8,637			
H26予算額	A	8,817			
H25当初予算額	B				
H25現計予算額					
増減額	A-B	8,817			
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)				自己負担金 180千円	
従事職員数【人工】					
人件費(人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む(千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績		単位		単位	
単位当たりコスト(円)					
事業の目標	高齢者の肺炎を予防し健康寿命を延伸する。				備考
					<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウエルネスシティ推進”事業

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診推進事業																							
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)																							
事業の目的 がんは、死亡原因の第1位であるが、早期発見、早期治療により死亡者数を減少させるため、無料クーポンを発行し、がん検診の受診者数を向上させる。 大腸がんは、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。(23年度よりの特別事業) 受診率の低い子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)は5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。(21年度からの特別事業)					宇陀市一般会計予算																					
					区分	No.	区分名																			
					款	4	衛生費																			
					項	1	保健衛生費																			
					目	4	健康づくり費																			
細目																										
根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進 特別予算																									
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進																									
H26年度事業の概要	大腸がんは、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。(23年度よりの特別事業) 受診率の低い子宮頸がん検診(20歳～40歳)乳がん検診(40歳～60歳)は5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。 26年度より国の事業での補助対象年齢が変更となるが、従来の対象年齢に対し自己負担無料としてのがん検診推進事業を実施する。				財源の内訳 (単位:千円)																					
	子宮・乳がん検診は、21年度からの本事業により受診者が増加。 大腸がん検診は、23年度から事業開始。				分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>無料クーポン</th> <th>子宮がん検診(人)</th> <th>乳がん検診(人)</th> <th>大腸がん検診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21年度</td> <td>213</td> <td>398</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>197</td> <td>357</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>H23年度</td> <td>241</td> <td>346</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>174</td> <td>285</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table>				無料クーポン	子宮がん検診(人)	乳がん検診(人)	大腸がん検診	H21年度	213	398	...	H22年度	197	357	...	H23年度	241	346	427	H24年度	174	285	423	使用料	
	無料クーポン	子宮がん検診(人)	乳がん検診(人)	大腸がん検診																						
	H21年度	213	398	...																						
	H22年度	197	357	...																						
	H23年度	241	346	427																						
	H24年度	174	285	423																						
					国費	3,077																				
				県費																						
				市債																						
				その他																						
				一般財源	3,361																					
				H26予算額 A	6,438																					
				H25当初予算額 B	10,672																					
				H25現計予算額	10,672																					
				増減額 A-B	▲ 4,234																					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況																					
決算額又は決算見込額(千円)		4,307	10,672																							
従事職員数【人工】		0.80	0.80																							
人件費(人工×8,000千円)		6,400	6,400																							
総事業費:人件費含む(千円)		10,707	17,072																							
活動指標名		本事業による受診者数																								
活動指標の算式		-																								
活動指標の実績		882	単位	人			880	単位	人																	
単位当たりコスト(円)		12,139		19,400																						
事業の目標	市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (2)がん予防対策等の推進																		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供し、疾病の予防を目的として健康診査を実施する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目							
根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する集団検診(セット検診)と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。 子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する集団検診(女性のがん検診)と、市立病院、済生会中和病院、グランソール奈良で受診する個別検診の体制で実施する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年、十数名のがん確定診断者があり、早期治療につなげている。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,990	
					一般財源	20,296	
					H26予算額	A 23,286	
					H25当初予算額	B 23,679	
					H25現計予算額	23,679	
					増減額	A-B ▲ 393	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	19,629	23,679					
従事職員数【人工】	1.50	1.10					
人件費(人工×8,000千円)	12,000	8,800					
総事業費:人件費含む(千円)	31,629	32,479					
活動指標名	受診者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	9,206	9,200				単位	人
単位当たりコスト(円)	3,436	3,530				単位	人
事業の目標	市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (2)がん予防対策等の推進

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	妊婦健康診査・母子手帳交付事業					
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)					
事業の目的 妊娠経過と出生後の児の成長、予防接種歴を記録する母子健康手帳を妊娠が分った時点で交付する。交付時の保健指導は、妊娠・出産に対する不安や悩みの把握・相談とともに今後の関わりや支援のきっかけの機会となる。 妊婦の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健康診査の受診を徹底するため費用を助成する。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	4	健康づくり費	
細目								
根拠条例等	母子保健法							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち							
H26年度事業の概要	母子手帳発行時に、妊婦健康診査補助券綴り(38枚分の補助券、1枚2,500円)を発行し、健診時に健診費用として医療機関へ支払う。 母子手帳・妊婦健康診査補助券は、健康増進課・室生福祉保健交流センターで交付。 低所得者を対象に妊娠判定料全額補助事業を実施。(市町村民税非課税世帯<生活保護世帯を含む>)				財源の内訳 (単位:千円)			
	妊婦が安心して健診を受けることができ、妊婦と胎児の健康管理の向上が図れる。				分担金 使用料 国費 県費 28 市債 その他 一般財源 17,081 H26予算額 A 17,109 H25当初予算額 B 18,477 H25現計予算額 18,477 増減額 A-B ▲ 1,368			
事業の成果	妊婦健康診査・母子手帳交付							
		母子手帳交付数	妊婦健康診査	妊娠判定				
	平成22年度	180件	196件					
	平成23年度	198件	173件					
	平成24年度	137件	124件	5件				
		県外含まず						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 県費補助金 妊娠判定受診料補助事業補助金 28千円			
決算額又は決算見込額(千円)		12,449	18,477					
従事職員数【人工】		0.30	0.40					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)		14,849	21,677					
活動指標名		妊婦健康診査補助券交付数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		124	単位	人		130	単位	人
単位当たりコスト(円)		119,750	166,746					
事業の目標	妊娠中の健康診査費用を助成し、少子化対策につなげる。					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	母子保健事業 乳幼児健康診査																		
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)																		
事業の目的 児の発育状況や育児の状況を把握することにより、必要な助言・指導を行い、児の健康の保持・増進を図るとともに、育児不安の軽減を図ることを目的に健康診査を実施する。 発達の節目の時期に合わせて下記の健康診査を実施する。 乳児健康診査(4~5か月児、10~11か月児) 1歳6か月児健康診査 2歳児歯科健康診査 3歳児健康診査					宇陀市一般会計予算																
					区分	No.	区分名														
					款	4	衛生費														
					項	1	保健衛生費														
					目	4	健康づくり費														
細目																					
根拠条例等	母子保健法																				
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち																				
H26年度事業の概要	大宇陀・菟田野地区の健康診査は大宇陀保健センター、榛原・室生地区の健康診査は室生福祉保健交流センターで実施				財源の内訳 (単位:千円)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>健診回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">健乳診児</td> <td>4~5か月児</td> <td rowspan="2">18</td> </tr> <tr> <td>10~11か月児健診</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1歳6か月児健診</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3歳児健診</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2歳児歯科健診</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>						健診回数	健乳診児	4~5か月児	18	10~11か月児健診	1歳6か月児健診		7	3歳児健診		9	2歳児歯科健診		6	分担金
		健診回数																			
健乳診児	4~5か月児	18																			
	10~11か月児健診																				
1歳6か月児健診		7																			
3歳児健診		9																			
2歳児歯科健診		6																			
事業の成果	児の発育状況や育児の状況を把握し、児の健康の保持・増進を図るとともに、虐待問題の早期発見のためにも重要な機会となる。そのため、健診未受診者の全数把握に努めている。 健診の結果、経過観察等必要な児については、カンガルー教室(1歳6か月児健診などの経過観察児を対象とした親子教室)や発達相談などにつなげ発育、発達支援をする。また必要な児には関係機関(子育て支援センター、福祉課、教育委員会、幼稚園、保育所など)と連携した育児支援を行っている。				使用料																
					国費																
					県費																
					市債																
					その他																
					一般財源	1,731															
					H26予算額	A 1,731															
					H25当初予算額	B 1,877															
H25現計予算額	1,877																				
増減額	A-B ▲ 146																				
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況																
決算額又は決算見込額(千円)	2,082	1,877																			
従事職員数【人工】	1.10	1.80																			
人件費(人工×8,000千円)	8,800	14,400																			
総事業費:人件費含む(千円)	10,882	16,277																			
活動指標名	受診者数																				
活動指標の算式	-																				
活動指標の実績	807	800	単位 人																		
単位当たりコスト(円)	13,485	20,346	単位 人																		
事業の目標	未受診者をなくし、100%把握をめざす。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実													

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不妊治療助成事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する為の施策として、不妊に悩む夫婦の負担の軽減を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	4	本庁母子健康づくり費					
根拠条例等	宇陀市一般不妊治療費助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち						
H26年度事業の概要	一般不妊治療に要する経費について、1年間で5万円を上限として助成する。 50,000円×10組=500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	500	
					H26予算額	A	500
					H25当初予算額	B	750
H25現計予算額		750					
増減額	A-B	▲ 250					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			750				
従事職員数【人工】			0.03				
人件費(人工×8,000千円)			240				
総事業費:人件費含む(千円)			990				
活動指標名	助成金受給者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	人	15			単位
単位当たりコスト(円)				66,000			
事業の目標	事業の新設を市民はもちろん他市町村からの問い合わせも含め、定住や転入に繋げるよう周知し、事業の利用を促進する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (3)不妊治療費助成事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	母子保健事業 育児支援教室					
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	妊婦から乳児の保護者を対象に、講義・実習・交流により、知識の普及や保護者同士の交流のきっかけづくりをする。 ＊たまごクラス(母親教室): 妊娠、出産、育児についての学習、妊婦・産婦同士の仲間づくり、不安や悩みの相談の場、また配偶者の育児参加の場を提供し楽しみながら子育てができるようにする。 ＊ひよこクラス(育児教室): 育児についての学習、保護者同士の仲間づくり、不安や悩みの相談の場を提供する。				区分	No.	区分名	
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	4	健康づくり費	
					細目	6	保健センター母子健康づくり費	
根拠条例等	母子保健法							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育てが充実したまち							
H26年度事業の概要	ひよこクラス(育児教室) 4クール(1クール3回)				財源の内訳 (単位:千円)			
	たまごクラス(母親教室) 3クール(1クール3回)				分担金			
事業の成果	親同士が交流することで、子育ての情報交換や育児の相談ができ、悩みや不安の軽減につながる。また、子どもへの関わり方を学ぶ機会にもなる。 ひよこクラス 参加実人数 47人 参加延べ人数 121人 たまごクラス 33人 58人				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	211		
					H26予算額	A 211		
					H25当初予算額	B 215		
H25現計予算額	215							
増減額	A-B ▲ 4							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	148	215						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400						
総事業費:人件費含む(千円)	2,548	2,615						
活動指標名	事業参加者数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	80 単位 人	80 単位 人						
単位当たりコスト(円)	31,850	32,688						
事業の目標	さらに参加者を増やし、子育ての仲間づくりのきっかけとする。子育てのストレスや負担感が軽減され、ゆとりを持って子育てができるよう、交流の場とする。					備考		
						<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)母子保健事業の充実		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	健康ポイント事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	検診受診やウェルネス事業に参加することを啓発し、そのことで自身の健康増進につなげる。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要	健康づくりに関する事業に参加することで健康ポイントをためて応募すると、抽選で健康グッズなどの記念品がもらえる。例えば各種検診を受けること、その他、ラジオ体操やウェルネス関連事業に参加することでポイントを加算し、ポイントがたまれば応募ができる。 報償費 健康記念品 1,242千円 需用費 ちらし印刷、参加賞 1,059千円 役務費 広報折込料 25千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	事業参加することをすすめ、ウェルネスシティ宇陀市構想を推進する。 健康づくりに対する関心を高める。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	2,326	
					H26予算額	A 2,326	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,326						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位					
単位当たりコスト(円)		単位					
事業の目標	市民が健康への意識を高め、健康な市民が増加することで、宇陀市の医療費の抑制を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	健康づくり事業						
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	ウェルネスシティ構想にもとづく推進事業を実施することで、健康増進、健康寿命の延伸につなげる。				区分	No.	区分名		
					款	4	衛生費		
					項	1	保健衛生費		
					目	4	健康づくり費		
細目	82	ウェルネスシティ推進費							
根拠条例等	健康増進法								
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進								
H26年度事業の概要	病気の予防と健康づくり分野のウェルネス事業				財源の内訳 (単位:千円)				
	ウェルネスウォーキングマップ作成	216千円			分担金				
	生活習慣病予防(健診普及啓発・講演会)	502千円			使用料				
	食生活(調理実習)	158千円			国費				
	歯科衛生(啓発ポスター)	52千円			県費				
事業の成果	ウェルネスシティ構想を推進する。				市債				
					その他				
					一般財源	928			
					H26予算額	A	928		
					H25当初予算額	B			
					H25現計予算額				
増減額	A-B	928							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	/								
従事職員数【人工】									
人件費(人工×8,000千円)									
総事業費:人件費含む(千円)									
活動指標名									
活動指標の算式									
活動指標の実績		単位		単位					
単位当たりコスト(円)									
事業の目標	食生活、精神、歯、生活習慣病の観点から市民の健康を守る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	おはようラジオ体操				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)				
事業の目的 ラジオ体操は子どもから高齢者まで、ほとんどの人が知っていて、音楽があれば指導者がいなくてもいつでもどこで実施できる。ラジオ体操の効果を広め、自治会、まちづくり協議会を中心に事業として啓発する。					宇陀市一般会計予算		
					区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	4	健康づくり費
細目	82	ウェルネスシティ推進費					
根拠条例等	健康増進法						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H26年度事業の概要 地域でのラジオ体操普及を目的に、ラジオ購入交付金(5,000円)を申請があった自治会等に交付する。のぼり、CD、出席カードなどを配布する。 需用費 ラジオ体操CD・のぼり・スタンプ ラジオ体操スタンプ用紙&健康ポイントカード、ちらし印刷 1,297千円 負担金、補助金 ラジオ体操事業実施補助金 1,000千円					財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源		2,297					
H26予算額	A	2,297					
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B	2,297					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト (円)							
事業の目標 地域全体の健康意識向上と地域のつながりを高める。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ推進”事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業					
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する者に対して補助金を交付する。				区分 No.	区分名		
					款	4	衛生費	
					項	1	保健衛生費	
					目	8	環境衛生費	
細目	1	本庁環境衛生費						
根拠条例等	宇陀市太陽光発電システム設置補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第1章 第1節 自然環境の保全と活用							
H26年度事業の概要	住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金交付要綱に基づき、国の補助金の交付を受けて、自ら居住する住宅に発電システムを導入した者に交付する。 補助対象者に事業費の10%(上限5万円)相当のウッピー商品券を交付する。ただし、1住宅に1回とする。 平成26年度は、50件の範囲で実施する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	太陽光発電システムは、自然エネルギーである太陽光だけを使う環境に配慮したシステムである。 太陽光発電を取り入れる家庭が増えると、火力発電の負担を軽減できるため、CO ₂ の排出量の抑制に貢献できることとなる。 事業の成果として、補助金を交付し太陽光発電システムを設置した家庭に対して、アンケート調査を実施。 交付件数 平成24年度 37件 3,700,000円 ※24年度については、1件10万円の補助である。 アンケート回収量 上半期補助分 20件中19件回収 回収率 95%				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,500		
					H26予算額	A 2,500		
					H25当初予算額	B 4,000		
H25現計予算額	4,000							
増減額	A-B ▲ 1,500							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		3,700	2,500					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		5,300	4,100					
活動指標名		設置件数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		37	単位	件		50	単位	件
単位当たりコスト(円)		143,243	82,000					
事業の目標	地球温暖化の原因とされるCO ₂ の削減やエネルギー問題への意識高揚を図り、環境に配慮した持続的な発展のため普及を進める。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (4)住宅用太陽光発電システム設置補助金	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ごみの減量・資源化促進事業(生ごみ処理機)				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	環境衛生事業について、循環型社会の構築として、一般家庭の生ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」「コンポスト」の普及を促進していく。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費					
根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第1章 第3節 循環型社会の構築						
H26年度事業の概要	家庭用生ごみ処理機(600千円) コンポスト.....18基 108千円 EMボカシ.....3基 12千円 生ごみ処理機.....16基 480千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 平成18年度から平成24年度までに184件が設置されている。 榛原地区.....92件 室生地区.....57件 菟田野地区...10件 大宇陀地区...25件 平成18年度.....28件 平成19年度.....25件 平成20年度.....40件 平成21年度.....35件 平成22年度.....16件 平成23年度.....18件 平成24年度.....22件				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					600		
H26予算額					A 600		
H25当初予算額	B 800						
H25現計予算額	800						
増減額	A-B ▲ 200						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	243	350					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	1,843	1,950					
活動指標名	件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	22 単位 件	30 単位 件					
単位当たりコスト(円)	83,773	65,000					
事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (6)循環型環境社会の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ごみの減量・資源化促進事業(集団資源回収助成)							
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収助成制度を実施する。				区分	No.	区分名			
					款	4	衛生費			
					項	1	保健衛生費			
					目	8	環境衛生費			
細目	1	本庁環境衛生費								
根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱									
総合計画	基本計画 第1章 第3節 循環型社会の構築									
H26年度事業の概要	宇陀市内の登録団体は、38団体であり集団資源回収の報告は、年2回(9月と2月)報告を受け、1kg当たり3円の助成金を交付している。 平成26年度は、回収量633,069kgを見込んでいる。				財源の内訳 (単位:千円)					
					分担金					
事業の成果	平成22年度 664,385kg 助成金……1,993,155円 平成23年度 611,560kg 助成金……1,834,680円 平成24年度 583,090kg 助成金……1,749,270円 ※1kgあたり3円の助成				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	1,900				
					H26予算額	A 1,900				
					H25当初予算額	B 1,860				
H25現計予算額	1,860									
増減額	A-B 40									
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	1,750	1,860								
従事職員数【人工】	0.20	0.20								
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600								
総事業費:人件費含む(千円)	3,350	3,460								
活動指標名	回収量									
活動指標の算式	—									
活動指標の実績	583,090	単位 kg					620,000	単位 kg		
単位当たりコスト(円)	6						6			
事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (6)循環型環境社会の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業				
所管課	103	環境対策課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	3	合併処理浄化槽整備事業費
細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費					
根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第1章 第2節 生活環境の整備						
H26年度事業の概要	下水道処理区域の見直し及び他事業の関連により、合併処理浄化槽整備区域が拡大され平成24年度より整備を進めています。 5人槽・・・10基 332,000円×10基＝3,320,000円 7人槽・・・32基 414,000円×32基＝13,248,000円 7人槽・・・5基(市費)414,000円×5基＝2,070,000円 配管分・・・2基(市費)586,000円×2基＝1,172,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度の設置数は41基で、整備率は35%になる。又、平成26年度の設置数については、5人槽が10基、7人槽が37基合計47基を予定する。 平成24年度実績 5人槽・・・6基 補助金額・・・1,992千円 7人槽・・・34基 補助金額・・・14,076千円 10人槽・・・1基 補助金額・・・548千円				使用料		
					国費	5,522	
					県費	5,522	
					市債		
					その他		
					一般財源	8,825	
					H26予算額	A 19,869	
					H25当初予算額	B 28,421	
H25現計予算額	28,421						
増減額	A-B ▲ 8,552						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	16,650	19,710					
従事職員数【人工】	0.60	0.60					
人件費(人工×8,000千円)	4,800	4,800					
総事業費:人件費含む(千円)	21,450	24,510					
活動指標名	設置件数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	41	単位	件	50		単位	件
単位当たりコスト(円)	523,171	490,200					
事業の目標	生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成25年度からの5カ年計画により整備率を43%を目標とする。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (5)合併処理浄化槽設置整備事業補助金		